

にほんまつ 市議会だより

第61号

12月定例会

令和3年2月1日発行
(2021年)

発行：二本松市議会

編集：議会だより編集委員会



第4回議会報告会を開催

貴重なご意見をいただきました

4回目となる議会報告会を、昨年11月11日から13日にかけて市内6会場で開催し、81人の方に出席いただきました。

今回は、主に9月定例会の審議内容を議員から説明した後、参加された皆さんとの意見交換を行いました。それぞれの会場で皆さんからお寄せいただいた主なご意見等を紹介します。

新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者の皆さまには、マスク着用、会場入口での検温及び手指消毒をお願いしました。

■二本松地域(二本松・塩沢地区)

開催日時 11月11日(水)午後7時～午後8時25分
会場 二本松住民センター 3階 第3会議室
参加人数 9名



- 設立後3年経つが、にほんまつ観光DMOの実績が見えない。DMOとインバウンドの予算が3,500万円もあり、市民に分かりやすい報告が必要。
- 二本松駅も橋上駅にしていかななくてはならないと考える。駐輪場も駅広場もそんなに広くする必要はないと考えるので、一日でも早くJRとの協議を進めてもらいたい。
- 芝生広場整備事業について、そんなに立地のいい場所、便利のいい場所でないように感じる。公認であれば、学生の合宿所なども整備し、より活用を図るのも良いのではないかと。

■岩代地域

開催日時 11月11日(水)午後7時～午後8時15分
会場 旭住民センター 2階 大会議室
参加人数 22名



- 安達東高校と二本松工業高校の統廃合問題について、今どのように進んでいるのか。
- 太陽光発電で山がはげ山になっている。雨水対策はしていると思うが、いずれ川に流す。昨年の台風のような雨が降った場合、川がまた氾濫してしまうのではないかと大変心配している。
- 芝生広場整備事業(人工芝サッカー場)について、箱物をつくる時代は終わったのではないかと。膨大な事業費、ランニングコスト、さらに人工芝の張替え経費がかかる。

■二本松地域(岳下・杉田地区)

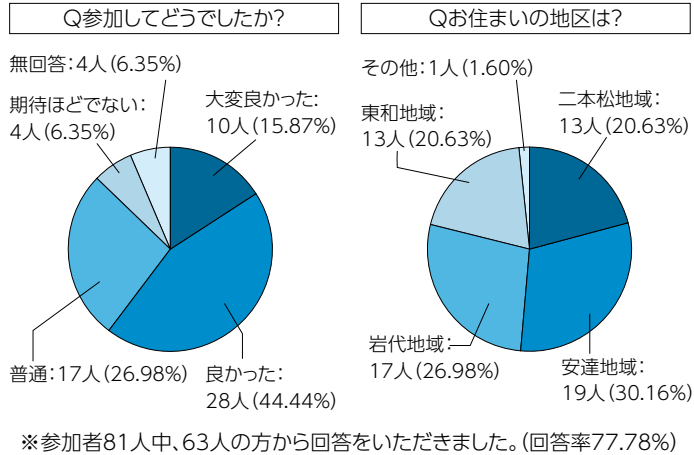
開催日時 11月12日(木)午後7時～午後8時
会場 岳下住民センター 2階 研修展示室
参加人数 9名



- 国政の場合は政党政治が主であるが、市議会はどうのようにして会派を組織しているのか。
- 城山グラウンド周辺に設置されているベンチが壊れており、修繕が必要。また、グラウンドの排水が悪いので、各種大会が開催される際には、二本松市の印象が悪くなる。
- 温泉地観光施設整備事業(旧アークホテル跡地イベント広場、トイレ等整備)は、今後、どのように活用・運営し、岳を活性化させるのか。

アンケートから 参加者の声

- 議員皆さんの熱意が感じられ、市政や議会について勉強になった。
- 質問に対して分かりやすい説明であった。
- 質問や答弁が1人に対して長い。
- 若い人も議会報告会に参加できるような機会をつくり、政治離れにならないようにすべき。
- 問題によりけりだが、議員個人の考えや見解も聞いてみたい。



■安達地域

開催日時 11月12日(木)午後7時~午後7時55分
 会場 上川崎住民センター 1階 多目的ホール
 参加人数 24名



- 高齢者温泉等利用健康増進事業について、温泉利用以外に利用できないか。
- 堤防の草刈りについて、国交省分はきれいに刈っているが、油井川の堤防はお粗末。市にも要望している。
- 八軒の取付道路と生協前の交差点はいつ完成するのか。生協前は国道へ出る車がかえて、大変支障をきたしている。
- 上川崎6区の上水道未普及区域における今後の計画予定は。

■二本松地域 (石井・大平地区)

開催日時 11月13日(金)午後7時~午後8時
 会場 石井住民センター 1階 会議室
 参加人数 2名



- コロナ禍でも議会活動を幅広く知ることが大切と思い参加した。イベント等の中止が続き危惧している。(地域コミュニティー)

次回はみんなで行ってみっぺ!



■東和地域

開催日時 11月13日(金)午後7時~午後8時25分
 会場 東和文化センター 2階 研修室
 参加人数 15名



- 減容化施設の跡地の考え方について。更地にして返して終わりではなく、何かに利用しなくてはと思う。
- 電力の地産地消構想は立派だが、3か所稼働したようで、まだまだ足りないのでは。この事業は議員も承知して始まったことなので、責任を持って進めるべきと考える。
- 議会の審議については、かなり甘いところがあるのでは。岩代に建設予定の芝生広場は、基本設計が後から出てきたり、人工芝張替え等のランニングコストもしっかりと審議されているのか。

市長提出議案は36議案

二本松市総合計画の策定などを可決

令和2年12月定例会では市長提出議案36件を審議し、全議案を原案どおり可決及び同意しました。

現行の「新二本松市総合計画 二本松を元気に！新5ヵ年プラン」を継承しつつ、重点的に推進すべき目標と政策を定めた新たな計画を審議し、可決されました。

現計画が令和2年度で完了し、令和3年度から令和12年度までの10年間の新たな計画となります。

議案第142号 令和2年度二本松市一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対策経費や令和元年台風第19号に係る災害復旧経費など一般会計補正予算案を可決

新型コロナウイルス感染症対策経費、令和元年台風第19号に係る災害復旧経費及び国・県補助事業の関連並びに執行経過による変更及び整理に係る補正予算を全会一致で可決しました。

補正予算の主なもの

- | | |
|---------------------------------|---------|
| ○畑作生産振興事業費 | 1,679万円 |
| ○有害鳥獣被害対策事業費 | 1,497万円 |
| ○新型コロナウイルス感染症対策資金融資信用保証料補助 | 1,845万円 |
| ○創業支援空き店舗等活用事業補助 | 732万円 |
| ○新型コロナウイルス感染症対策資金融資利子補給補助金基金積立金 | 2億877万円 |
| ○農業用施設単独災害復旧事業費 | 1,400万円 |



補助金を活用して創業した店舗

二本松市教育委員会教育長任命の同意

丹野 学さん（福島市松川町・再任）

二本松市教育委員会委員任命の同意

太田 左恵子さん（竹田・新任）

二本松市固定資産評価審査委員会委員選任の同意

根本 清一さん（小浜・再任）	小沢 昌子さん（休石・再任）
鹿野 雅弘さん（郭内・再任）	安齋 一二さん（上川崎・再任）
鳴原 和洋さん（針道・新任）	

○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第117号	二本松市総合計画の策定について	原案可決
第118号	二本松・東北達地方新市建設計画の変更について	原案可決
第119号	福島県市民交通災害共済組合規約の変更について	原案可決
第120号	二本松市新型コロナウイルス感染症対策金融資利子補給補助金基金条例の制定について	原案可決
第121号	二本松市税特別措置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第122号	二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第123号	二本松市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第124号	二本松市生きがいデイサービスセンター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第125号	二本松市二本松処理区下水道事業受益者負担に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
第126号	二本松市二本松南学童保育所の指定管理者の指定について	原案可決
第127号	二本松市塩沢学童保育所の指定管理者の指定について	原案可決
第128号	二本松市岳下学童保育所の指定管理者の指定について	原案可決
第129号	二本松市安達太良学童保育所の指定管理者の指定について	原案可決
第130号	二本松市原瀬学童保育所の指定管理者の指定について	原案可決
第131号	二本松市杉田学童保育所の指定管理者の指定について	原案可決
第132号	二本松市石井学童保育所の指定管理者の指定について	原案可決
第133号	二本松市大平学童保育所の指定管理者の指定について	原案可決
第134号	二本松市杉田子ども館の指定管理者の指定について	原案可決
第135号	二本松市二本松老人デイサービスセンターの指定管理者の指定について	原案可決
第136号	二本松市安達老人デイサービスセンターの指定管理者の指定について	原案可決
第137号	二本松市岩代老人デイサービスセンターの指定管理者の指定について	原案可決
第138号	二本松市二本松生きがいデイサービスセンターの指定管理者の指定について	原案可決
第139号	二本松市岩代生きがいデイサービスセンターの指定管理者の指定について	原案可決
第140号	二本松市道の駅さくらの郷の指定管理者の指定について	原案可決
第141号	二本松市ウッディハウスとうわの指定管理者の指定について	原案可決
第142号	令和2年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第143号	令和2年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第144号	令和2年度二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
第145号	令和2年度二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決
第146号	二本松市教育委員会教育長任命の同意について	原案同意
第147号	二本松市教育委員会委員任命の同意について	原案同意
第148号	二本松市固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	原案同意
第149号	二本松市固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	原案同意
第150号	二本松市固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	原案同意
第151号	二本松市固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	原案同意
第152号	二本松市固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	原案同意

○請願とその審議結果

受理番号	件名	結果
第5号	「国の制度として『20人程度学級』を展望した少人数学級の実現を要望する意見書」の提出を求める請願書	趣旨採択
第6号	一定所得以上の75歳以上の医療費自己負担2割化中止を求める請願	不採択

常任委員会の審査報告

総務市民常任委員会

二本松市総合計画の策定、一般会計補正予算について

○二本松市総合計画の策定について

問 現行の総合計画の計画期間は、世の中の速い動きに対応するため5年としていたのに対し、次期総合計画では10年とした理由は。

答 総合計画策定に約2年かかるので、5年の計画期間では、成果の検証等が十分にできないうちに次の計画の準備をすることになってしまう。また、10年の計画期間としても、社会情勢に合わせ中間見直しを行い、実施計画も3年間の計画を策定してローリングすることで、諸問題にも対応できる。

意見 安心して暮らせる、住みやすい街づくりのため、市民が納得するような計画作りをしてほしい。

問 地産地消のエネルギー事業の推進において、市内のエネルギー自給率を100%とする施策は。

答 個人の住宅に太陽光発電設備の設置を推進していくことや、ゴチカンと協力して、太陽光やバイオマス発電などにより地域内で生産された再生可能エネルギーの地産地消を進めることなどをして

100%を目指していく。

○令和2年度二本松市一般会計補正予算

問 特別定額給付金給付事業について給付金の残額があるが、その理由は。

答 予算は国からの補助金の限度額としており、実際の給付率は、世帯ベースで99.6%、人口ベースで99.81%であった。未給付の内訳は、給付を希望しない人が3件、受給権消滅の人が12件、未申請の人が50件となっている。



机上審査の様子

産業建設常任委員会

二本松処理区下水道事業受益者負担に関する条例等の一部を改正する条例制定等について

○二本松処理区下水道事業受益者負担に関する条例等の一部を改正する条例制定について

問 下水道事業受益者負担金等の滞納者は何人いるのか。また、上水道に関しての条例改正は行わないのか。

答 滞納者数については、令和2年11月25日現在で14人となっている。また、今回は地方税法の改正に基づく条例改正のため、下水道受益者負担金等のみが該当するものである。

○令和2年度二本松市一般会計補正予算

問 有害鳥獣捕獲事業は県と市でそれぞれ行われているが、地域によって県の捕獲頭数が多い地域と少ない地域があるのは、周知が徹底していないためか。

答 市では猟友会から推薦をいただいた120名により鳥獣被害対策実施隊として各地域で捕獲活動を実施している。県による指定管理捕獲等事業については、猟友会二本松支部で県の事業に登録をされている30名程度が捕獲活動を実施しており、各地域での登録者

数の違いにより、捕獲頭数に差が出ているものである。

問 道路照明修繕の主な内容は。また、修繕の対象となる道路照明の数は。

答 修繕の主な内容は、大型照明器具の灯具の交換、初期に設置したLED灯の交換、雷等の影響により故障した場合の交換、木柱の老朽化による交換等である。また、修繕の対象となる道路照明の数については、基本的にリース事業で整備した3,848灯を除いた2,200灯程度であるが、リース事業で整備した道路照明でも保険の適用範囲を超える場合には、市で補填する場合がある。



机上審査の様子

12月7日に付託された各議案は、12月8日から10日にかけて各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日15日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

文教福祉常任委員会

一般会計補正予算について

問 障害福祉サービス事業のうち、訓練等給付費が2,571万円増加した要因は。

答 昨年度と比較して、グループホームへの入所者が10名増えたことが主な増額要因である。今年は地域移行を希望される方がグループホームに入所する傾向が増えている。また、安達管内にグループホームが2か所増えたことも増員の要因と思われる。

問 芝生広場整備事業について、過疎債から合併特例債に財源が変更になったが、過疎債が減額されたのはサッカー場の整備が過疎債の対象とならないために減額されたのか。今後の事業実施にあたり財源はどのように確保していくのか。

答 市で申請した過疎債で実施する事業費全体の枠組みで減額されており、サッカー場の整備が過疎債の対象とならないためではない。来年度以降の財源については、合併特例債を使って財源を確保していく。助成金やサッカー協会の補助金、事業費の圧縮などで一般財源による負担を抑えていく。



机上審査の様子



現地調査の様子（二本松老人デイサービスセンター）

お店で実施している感染防止対策の取組みをPRしましょう

福島県では「新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」にしたがって感染症防止対策に取り組む飲食店等に対し、ステッカーを配布しています。

【ステッカー配布の流れ】

- 1 セルフチェックリストで感染防止対策の確認
- 2 セルフチェックリストの提出
直接持参する場合は、福島県北食品衛生協会へ。
郵送での申込みは、公益社団法人福島県食品衛生協会へ。
- 3 ステッカーの配布・お店の入口など見えやすい場所に設置

【感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫】

- ① 少人数・短時間で、
- ② なるべく普段一緒にいる人と、
- ③ 深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で。
- ④ 箸やコップは使い回さず、一人ひとりで。
- ⑤ 座の配置は斜め向かいに。
- ⑥ 体調が悪い人は参加しない。
- ⑦ マスクできない飲食中は会話を控える。
- ⑧ ステッカーを掲示するなど感染対策がしっかりしている店舗を利用する。

感染防止対策取組ステッカー



一般質問

市の明日を考える!

12月定例会の一般質問は、12月7日及び8日の2日間行われました。今定例会でも、新型コロナウイルス感染症対策として、長時間の三密を避けるため、登壇者を一会派二人以内に制限し質問時間の短縮に努めた結果、合計9人の議員により議論が展開されました。

主な質問については、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載いたします。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで読みとっていただきますと、録画映像をご覧ください。

[発言順]



加藤 建也

[無所属]

今後のコロナ感染症対策は

三ノ丸御殿と大手門復元の可能性は

問 コロナ感染症に対する本市の社会経済活動の対策は。

答 市としては、まずは、各事業者において感染防止対策をしっかりと行うよう、衛生設備の改善のための支援及び非接触型赤外線温度測定器の貸与の継続について検討していく。

問 三ノ丸御殿が復元できた場合の利活用は。

答 今年4月に文化庁より「史跡等における歴史的建造物の復元等に関する基準」が決定され、史跡等の本質的価値の理解促進等の観点

から、史跡の規模や構造を変更しての保存活用推進を可能とすることが示されたが、復元的整備に向けての手続きの一つとして「保存活用計画」を策定し、活用方策や管理方針を示すこととされている。そうした方策・方針は、各分野の学術専門家や市民の皆様などのご意見や議論を踏まえながら策定するものであると承知し、保存活用計画の中で検討していく。

にほんまつDMOの主な事業成果は

空き家対策は



坂本 和広

[真誠会]

問 にほんまつDMO設立から現在までの成果は。

答 「日本酒生チョコレート」や「岳温泉源泉と4酒蔵のフェイスパック」等、既存の観光資源に光を当て新たな商品を生み出すことができた。

問 空き家解体助成制度の申込件数は。

答 広報にほんまつ7月号を活用して事業の周知を実施したところ、16件問い合わせがあり、4件の申込を受付し、内3件の補助を決定し、1件が解体終了、2件が実施予定である。

問 空き家調査に基づく助言・指導・勧告の件数は。

答 建築住宅課では、平成30年度に7件、令和元年度に13件、今年度11月末までに3件の相談対応を行っており、その中で助言等を行ったところ、除却に至った件数は3件あった。

問 資力や意思がなく管理不全な空き家は何件か。
答 管理不全空き家で解体意思や資力が無いなど所有者等の事情により解体に至っていない14件を把握している。



佐藤 有

[真誠会]

なりすまし詐欺の防止策は

安達地方特別支援学校の建設計画は

- 問** 官民が一体となつての注意喚起方法は。
- 答** 「なりすまし詐欺防止にほんまつネットワーク」を組織し、被害防止の取り組みをしている。
- 問** 被害に遭わないための具体案は。
- 答** 手口が巧妙化しているため、キャッシュカードや預金通帳は誰にも渡さない、暗証番号は誰にも教えない、電話でお金やキャッシュカードの話が出た場合は詐欺の可能性を疑い警察や家族、近所の方へ相談することが重要である。
- 問** 高齢者世帯への機能付電話機の補助は。

- 答** 警告機能付き電話録音機については、大変有効な手段であり関係機関と協議し貸出事業の充実等について検討する。
- 問** 建設計画の概要は地元の説明なのか。
- 答** 安達地区特別支援学校小・中学部については、県教育委員会によると定員40名17学級で計画。今後、地質調査・基本設計・実施設計を進めたうえで、具体的な内容を計画し、建設計画の概要が決定した場合には、地元に対して説明・周知していく。

QRコード付与で読みやすい広報誌としては

教育の場で音読の積極的な活用を



石井 馨

[令和創生の会]

- 問** 市の広報誌「[にほんまつ]」の記事・案内は文字が多い事から、QRコードを多用しお知らせ・案内を動画で配信すべきと思うが考えは。
- 答** 広報誌には写真、図、表を用いて見やすい誌面作りを行っている。ウェブサイトで記者会見を配信しており、QRコードによる動画配信は今後広報誌だけでなく幅広く検討していく。
- 問** 小中学生の読解力・発信力・表現力の向上に

- 音読が適していると思うが、特に古典や郷土史などを活用してはどうか。
- 答** 音読には文字に親しんだり、理解力を深めたりと様々な効果があり、発達段階に応じて授業などで取り組んでいる。日本独特のリズム感がある古典や親しみのある郷土史についても音読の効果はある。令和3年度中学生全員に配布する、仮称「二本松戊辰史」を音読に活用していきたい。



佐藤 運喜

[市政刷新会議]

市道認定と整備計画は

スマート農業推進と農業経営安定化対策は

- 問** 舗装率、改良率の向上と市道への認定基準は。
- 答** 舗装は家屋に通じる未舗装区間や地域間の連絡路を主に、改良では通学路の危険箇所等の向上に努める。市道認定要件は、国・県・市道いずれかに接続して概ね5戸以上宅地に連結し、雨水排水の側溝を有し、敷地の境界、所有権移転に問題がない道路等の基準を審査し、議会の議決を得て認定とする。
- 問** 仮置き場周辺道路等の補修と都市計画内（安達駅周辺）の道路計画の進捗状況は。

- 答** 輸送完了後、環境省と道路管理者等で状況確認の上、軽微な路面の穴埋め等の維持補修や舗装打ち替え等の修繕を行う。市道安達駅・福岡線は今年度に道路改良を予定。県道安達停車場線は法線等の検討中で、県道整備に合わせて市道安達駅・源八坂線は事業着手に向け進める。
- 問** ドローン等の導入と収入保険への市の対応は。
- 答** 担い手農家や関係団体等の意見も参考に活用等を研究する。収入減少を補填する保険制度への周知・加入促進に努め、掛金助成は今後検討。

介護保険制度の来年度の改正点と 65歳以上の高齢者の数と認定者数は



平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

- 問** 介護保険制度の来年度の改正点は。
- 答** 負担上限額を医療保険の高額療養費制度の負担上限額に合わせる改正と、非課税世帯の施設利用する場合の食費、居住費の助成要件に預貯金等の明確化を図るための改正である。
- 問** 本年7月時点における65歳以上の被保険者数と認定者の数は。要介護認定の割合は。
- 答** 第1号保険者数は18,185人であり、要支援と要介護認定者の合計は3,260人。要介護認定を受けた被保険者の割合は17.9%である。

- 問** コロナ禍のもとで、市として、国の慰労金の対象外となっている保育所や学童クラブ等児童施設職員などに交付金を活用し慰労金支給はできないか。
- 答** 社会を支える基盤のひとつとして、感染予防対策を徹底しつつ、密を避けることが現実として困難な保育を、現在もなお継続している保育所や学童クラブ等の職員には、感謝と慰労の意を表したい。慰労金支給は国において議論されるべきものと考えている。



熊田 義春

[市政会]

有害獣対策事業での捕獲頭数は

幼稚園、保育所への申し込み状況は

- 問** 今現在の熊、イノシシの捕獲頭数は。
- 答** 11月現在で熊は、二本松地域12頭、安達地域1頭、岩代地域1頭、東和地域0頭、合計14頭である。イノシシは市事業分で、二本松地域189頭、安達地域61頭、岩代地域89頭、東和地域273頭で合計612頭である。また、県事業分では、二本松地域0頭、安達地域0頭、岩代地域305頭、東和地域122頭で合計427頭であり、市事業と県事業を合わせて1,039頭となる。

- 問** 11月現在の幼稚園、保育所への申込件数は。
- 答** 公立幼稚園の申込児童数は80名で、令和2年4月1日現在の入園児数が110名であり、30名の減となっている。認可保育所の申込児童数は、公立が392名、私立が253名、小規模保育所は、私立のみで26名、認定こども園は、公立が121名、私立429名で、認可保育所、小規模保育所、認定こども園を合わせた児童数は、合計1,221名であり、令和2年4月1日現在より50名減である。

サッカー場整備は見直し含め慎重に検討を

来年度の集団検診は従来同様にすべきでは



菅野 明

[日本共産党二本松市議団]

- 問** 令和4年12月迄の完成期限延長は出来ないか。補助申請先の日本サッカー協会（JFA）もコロナ禍という今日の事態は想定しておらず、市民の安全安心を優先するため一旦立ち止まり、延長を強く求めるべきでは。
- 答** 今年7月に協会と期限延長の協議を行い、令和5年3月末完成の変更計画書を提出した。コロナ禍の影響で全国的に事業が遅れている自治体も多く更なる期限延長も要望していく。
- 問** 市民や地域の声を踏まえた事業となるよう、見

- 直しも含め慎重に検討すべきでは。
- 答** 基本設計において、市サッカー協会と整備内容の意見交換を重ね、要望等できるだけ反映させている。実施設計においても関係団体や近隣住民の意見を参考に、事業を進めていく。
- 問** 今年の検診はコロナ禍で、完全予約での実施で混乱した。来年度はこうした状況を改善し市民の健康を守るため従来同様の取組みとすべき。
- 答** 来年度も従前同様の実施は困難と判断、感染症対策を十分行い、今年度同様な手法で実施する。



野地 久夫

[市政刷新会議]

医師確保対策事業は

再生可能エネルギー推進事業は

問 修学資金貸付金の対象者は将来、市内の公的病院の医師として勤務をする病院を伺う。

答 独立行政法人二本松病院である。

問 修学資金貸付金の貸与上限額貸与要件を伺う。

答 私立医大生で貸与額は月額485,000円で、上限は月額100万円であり上限額以内である。

問 新電力可能性調査業務委託の内容結果を伺う。

答 二本松市再生可能エネルギー100%復興自治体モデル構築事業について徳島地域エネルギーに880万円で、協議推進事業をゴチカンに

984,500円で業務委託。結果としては電力自由化で小売り電気事業者が増加傾向にあり2019年12月時点で630件の小売り電気事業者が乱立し過当競争となっていること、東北電力など既存の大手電力会社の巻き返して売電価格が下落していることなどで事業実施に慎重な判断が必要である。今後、ゴチカンにおいて事業実施の可否の検討をしていくと考えている。

一般質問における新型コロナウイルス感染症対策

コロナ禍の下、6月定例会以降は、会派代表者会で協議・決定し、議員の協力・理解を得て、一般質問の人数制限（各会派2名まで、1人会派は2回に1回）を行ってきました。現状のやり方では、毎回できる議員もいて不公平であることから、12月定例会前に再度、会派代表者会で協議しました。

議長より

・3密を避けることが大事。3密の時間を短くして、市役所から出さない、うつさないを基本に協力いただいた。他議会も対応しているため、継続して何らかの対策は必要。

協議の中で様々な意見が出されましたが、意見が分かれたため、多数決では決めず、全員合意の上で進めるために、妥協策として現状維持とすることにしました。

なお、3月定例会の代表・一般質問については、別途協議することとしました。

お知らせ

次回の定例会は3月上旬に開会の予定です。本会議の傍聴は、市役所6階の議場・傍聴者入口からご案内しています。傍聴の際は、マスクの着用など新型コロナウイルス感染対策にご協力をお願いします。

市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

市議会だより編集委員会

〒964-8601 二本松市金色403番地1

TEL 55-5144 (議会事務局)

FAX 22-6047

E-mail gijichosa@city.nihonmatsu.lg.jp



12月定例会 討論

討論は、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成・反対の意見を表明することをいいます。

請願第5号 「国の制度として『20人程度学級』を展望した少人数学級の実現を要望する意見書」の提出を求める請願書

賛成

菅野 明 議員

コロナ禍で少人数学級を経験した子どもたちが、「いつもより勉強が分かった」と笑顔がこぼれた。今後感染症の再拡大時、今の40人学級では感染症予防が困難である。現在、学級の標準は法で決められており、国が法改正を行えば全国全ての自治体で少人数学級が実現できる。

学校では新しい時代の学びを支える環境整備が必要と全国知事会などが国に要請。萩生田文科大臣は11月、国会で「不退転の決意で臨む」と明言しており賛成する。

反対

佐藤 源市 議員

県は、学級編成基準策定方針に子供達や地域、学校状況踏まえ、学年の特性、児童生徒の発達段階に即した指導体制整備が出来るよう、市町村の判断で弾力的な学級編成を行うと明記されている。少人数学級では、未来への子供達の学力、体力、競争力の向上に将来社会へ課題が残ること。教職員増を求めているが、現在適切な配置であり、今後コロナ対策は的確、早急な対応が必要で、教職員には指導に一層、充実強化を図ることが望まれ、請願に反対する。

請願第6号 一定所得以上の75歳以上の医療費自己負担2割化中止を求める請願

賛成

斎藤 広二 議員

75歳以上の医療費窓口負担1割を2割にするもので370万人が対象。現役世代の負担軽減の為と言うが、軽減は1人年800円。高齢者の医療制度導入時、医療費の45%あった国費を35%に削り、現役世代に肩代わりさせ、高齢者自身に負担を転嫁した。介護保険料も当初の2倍となり、年金は6.4%減らされた。金の切れ目が命の切れ目にならない。先進国では医療費の窓口負担無料は当たり前。コロナで命と健康を守るべき時に負担増はやめるべき。

反対

平栗 征雄 議員

これからの厳しい社会に向かう若者の時代を考えれば、今後戦後の団塊世代による高齢者人口は増大するので、医療費に係る対策は将来を見据えて当然準備しておかなければならない。高齢者の医療費負担を1割に抑えるということは、将来にわたっての社会保障制度の持続性が損なわれることになる。世代間の公平性を考慮すれば、一定以上の収入がある人の2割の医療費自己負担は当然必要であり、今回の請願に対し反対する。

12月定例会賛否一覧

(これ以外の案件等は全会一致で可決されました。)

番号	件名	議決結果	市政刷新会議			真誠会			市政会			日本共産党 二本松市議団		令和創生の会			会派にない議員		賛成	反対			
			野地久夫	佐藤運喜	鈴木一弘	斎藤徹	平栗征雄	佐藤源市	平塚興志	佐久間好夫	佐藤和広	堀籠新一	安齋利美	熊田義春	斎藤広二	菅野明	平敏子	本多俊昭			小林均	石井馨	加藤建也
請願第5号	「国の制度として『20人程度学級』を展望した少人数学級の実現を要望する意見書」の提出を求める請願書	趣旨採択	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	10
請願第6号	一定所得以上の75歳以上の医療費自己負担2割化中止を求める請願	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	3	18

※○は賛成、●は反対、退は退席。 ※議長（本多勝実）は採決に加わっていません。

令和2年第9回(11月)臨時会

11月臨時会は、11月20日に開催されました。提出された議案は、国の人事院勧告、県の人事委員会の勧告内容に沿って、議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正以下、給与関係条例の一部改正4件とそれに伴う補正予算等5件で、審議の結果、全会一致及び賛成多数で原案可決しました。
 主な内容は次のとおりです。

- ◎二本松市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◎二本松市常勤の特別職の給与の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について
 - ・議会議員及び市長等特別職の期末手当の年間支給月数を3.35月から0.05月引き下げ、3.3月としました。
- ◎令和2年度一般会計補正予算
 - ・給与関係条例の一部改正に伴う改定分を措置しました。
 - ・当初予算編成後の異動等に伴う整理を行いました。

- 議案第110号 二本松市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第111号 二本松市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第112号 令和2年度二本松市一般会計補正予算
- 議案第113号 令和2年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算
- 議案第114号 令和2年度二本松市介護保険特別会計補正予算
- 議案第115号 令和2年度二本松市水道事業会計補正予算
- 議案第116号 令和2年度二本松市下水道事業会計補正予算

反対

齋藤 広二 議員

二本松市職員の期末手当を人事院勧告に従って0.05月分引き下げるもの。労働者の賃金が一番高かったのは20年前。人事院勧告は「民間準拠」ですから公務員も下がり続けているのが実態。大企業の内部留保は8年間で1.7倍の488兆円。コロナ禍の下で富裕層は8兆円も儲けた。中小企業の倒産、廃業が相次いでいるが、その責任は働く人ではない。景気回復のために消費税減税が必要。日々の消費生活の中ですべての人に減税効果が毎日現れる。

討論

- 議案第108号 二本松市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第109号 二本松市常勤の特別職の給与の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第110号 二本松市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

賛成

加藤 建也 議員

期末手当を0.05月引き下げるこの数値は、民間の景気変動や賃金動向を参考にし、人事院及び人事委員会が判断するものであり、これは景気が上がり賃金が上がれば上がり、逆の場合は下がるという当たり前の事であり、全国の自治体に勧告されるもので、この中の一部だけ取り上げて反対することは、この三者の賃金バランスを大きく崩すことになり問題が残るため、この3つの議案は賛成である。

11月臨時会賛否一覽

(これ以外の案件等は全会一致で可決されました。)

番号	件名	議決結果	市政刷新会議			真誠会			市政会			日本共産党 二本松市議団			令和創 生の会			会派に ない 議員		賛 成	反 対					
			野地 久夫	佐藤 運喜	鈴木 一弘	斎藤 征雄	平栗 源市	佐藤 源市	平塚 與志一	佐久間 好夫	佐藤 有	坂本 和広	堀籠 新一	安齋 政保	小野 利美	熊田 義春	斎藤 広二	菅野 敏子	本多 俊昭			小林 均	石井 馨	加藤 建也	本多 勝実	
議案第110号	二本松市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	18	3	
議案第111号	二本松市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	退	●	○	○	○	○	○	○	18	2
議案第112号	令和2年度二本松市一般会計補正予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	18	3
議案第113号	令和2年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	18	3
議案第114号	令和2年度二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	18	3
議案第115号	令和2年度二本松市水道事業会計補正予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	18	3
議案第116号	令和2年度二本松市下水道事業会計補正予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	18	3

※○は賛成、●は反対、退は退席。 ※議長（本多勝実）は採決に加わっていません。

